

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・午後 3 時 46 分受領

(7 枚中 No. 1)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
質問の要旨（具体的に記載してください） <u>1. 聞き取り調査で 27%がバスを使うと言っていることについて</u> <u>人口の 27%=26,100 超、有権者の 27%=21,900 超（市長の得票数に近い）</u> <u>実利用者数のシミュレーションでは 43,190 人</u> (1) <u>無視して問題ない人数か。</u> (2) <u>運転できなくなったら使うと回答した人は、果たして「あづみん」で満足なのか。</u> <u>家にとじこもる高齢者が増えてしまうおそれ。どうするのか。</u> (3) <u>移住定住の促進と切り離して良いのか。移住希望者の声を意識しなくて良いのか。</u> <u>佐久市や秩父市、都留市など、CCRC 構想を推進する自治体はデマンド交通と循環バスを併用している。移住定住は公共交通の拡充がないと進まないのではないか。</u> <u>世代はベビーカーを積める公共交通を求める。子育てバリアフリーが進まないところに移住者が増えるのか。南箕輪村にあって本市にないのは、巡回バス。（伊那地域定住自立圏構想）中高生のサイクルバスのニーズをどう見ている？</u> <u>2. 法定協議会の結論について</u> (1) <u>検討に至った経緯を、複数の議員が一般質問で取り上げるからと説明。検討の目的が不明確。網形成計画の方針・目標に沿った検討をしないと意味がないのではない</u>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・午後 3 時 46分受領

(7 枚中No.2)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
<p>か。(公共交通システムのどこにどんな課題があり、その解決にバスが有効だという方向性)。どうして要望があるのかという議論すらしていない(ニーズの把握)。バスの要望があるのは何故か。バスを運行したら何が解決するのか。議論がすっぱり抜けている。公共交通の目標を定めない検討にどのような意義があるのか。</p> <p>(2) 公共交通を利用する住民の割合は多くない。無作為の聞き取り調査は意味がない(アンケート、定量調査の不適)。公共交通の利用者に限定すれば、ニーズの深堀りができる(グループインタビュー、定性調査の好適)。薄く広くではなく、狭く深く。使わないと回答した人は、「あづみん」だって使わないのではないか。(移動手段が自家用車でない方＝「あづみん」利用者なのか)</p> <p>(3) 今回の調査では、公共交通の課題が抽出されていない。公共交通の利用頻度、問題意識、改善要望など。外出の目的、目的別外出頻度、目的別外出時間・帰宅時間。税金投入の実態。事業の理解、合意など。バス路線の課題を抽出することが目的なのか。</p> <p>バスがあれば実現する活動を訊くべき。近隣の人に送迎を依頼する気まずさ。狭い車内で見知らぬ人と相席になる気まずさ。帰宅難民になる気まずさ。それで我慢していた外出が可能になることで、活動の幅が広がる。なぜ、訊かなかったのか。</p>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・ 午後 3 時 46 分受領

(7 枚中No. 3)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議員 召田 義人 様

安曇野市議会議員 遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
<p>(4) <u>内閣府の「公共交通に関する世論調査」では、通勤・通学を利用目的とする人の割合が 40%。病院・役所・郵便局・銀行等の用事は 12.7%。潜在的ニーズは、むしろ現役世代にあるとも考えられる。諏訪市は通学のニーズがあると考え、4月から「かりんちゃん子バス東西線」の運行開始。調査ターゲットの絞り込みは適切か。</u></p> <p>(5) <u>地域公共交通協議会（活性化再生法）が、路線や費用で運行の可否を判断したのは妥当なのか。協議会は、第一にバスが必要かどうか、協議すべきではないのか。協議を経て、網形成計画を補完するにはバスが必要だという合意に至ったら、地域公共交通会議（道路運送法）に場を移し、初めて路線や費用、運行形態について協議すべきではないのか。</u></p> <p><u>両協議組織のメンバーが同じでも、法的根拠は異なり、それぞれの役割がある。法定協議会が公共交通会議の機能を併せ持つには、設置規約にその旨の記載が必要ではなく。記載した規約が存在するのか。協議会は、利用者数や費用を算定するより、むしろ、クロスセクター効果を算定すべきだったのではないか。（茨城県境町は利根川氾濫時に備え、バス 11 台で高齢者をピストン輸送）</u></p> <p>(6) <u>公平性をどう考えているのか。</u></p> <p><u>バス停から 300m を公平性の基準にした根拠が曖昧。38% もの人がバス停まで 800m</u></p>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・午後 3 時 46 分受領

(7 枚中 No. 4)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議員 召田 義人 様

安曇野市議会議員

遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
<p>でも使えると回答している。1km 以上でも 10% もの人が使えると回答していることをどう捉えているのか。距離を公平性の尺度にしたら、すべてのことが不公平。(有明の住民にとって総合体育館は南の外れ)</p> <p>移動に不自由なく、バスなんて要らないという人がいることは、バスを望む人にとって不公平。乗車の機会すら与えられないことが不公平。土日にはしか買物に行けない人に「あづみん」は不公平。緊急・不意の外出が必要な人にも、登録・予約が必要な「あづみん」は不公平。不公平は主観的な感想。施策の判断材料にして良いのか。</p> <p>公共性には公正が求められる。公平より公正の議論を深めるべき。(ex. 学校に予算を割くのは、子どものいない家庭に不公平だから大幅な削減を、というのは公正か)不公平を理由に「使う」という声に耳を傾けないのは公正と言えるのか。</p> <p>(7) 費用シミュレーションで、収支率の検討をしていない。単に運行費が過大になることを示したかっただけか。</p> <p>実利用者数の推計から運賃収入を年間 863 万円としているのに、費用シミュレーションでは年間 2,000 万円を見込んでいる。矛盾している。運賃収入はいつでも良いのか。</p>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・午後 3 時 46 分受領

(7 枚中 No. 5)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
<p>運賃を一律 200 円に設定した根拠が曖昧。対キロ区間制や地帯制を検討しなかったのは、手薄ではないか。須坂市と千曲市を結ぶ路線には 930 円の設定がある。負担額の大きさは、活動機会の保障水準で検討すべき。</p> <p>利用人数が想定より少なければ、それに見合う車両でシミュレーションすべき。29 人乗りではなく、13 人乗りで。なぜ、導入経費を低くして検討しないのか。13 人乗りなら、運行費も低廉されるのではないか。</p> <p>費用シミュレーションで、どうして運行しないという結論になるのか不明。赤字になるからやらないと言うのは民間企業の論理。自治体は、健康で文化的な生活を保障するために、採算度外視でやらなければならないことがある。費用が過大というのは理由にならない。納得してもらえようと考えているのか。</p> <p>(8) 「あづみん」で交通空白が解消されており、国庫補助が受けられないとしても、ほかにメニューがあるのではないか。</p> <p>他市町村と連携して地域間幹線系統確保維持費（国・県）の可能性はないのか。総合病院、高校、大型商業施設への輸送。1日3便、1便に5人乗車で要件満たす。車両購入費への補助の可能性は。貨客混載（ワクチンを医療機関に）。グリーンスローモビリティの実証調査の企画提案。まち・住まい・交通 低炭素社会の構築に</p>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日
				午前・ 午後 3 時 26 分受領

(7枚中No. 6)

2021年8月24日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		
<p>向けた総合的な支援など...</p> <p>(9) デマンド交通の拡充で考えているのはどういうことか...</p> <p>土曜日の運行開始でも、日曜日は走らせないのか。都留市の予約型乗り合いタクシーは毎日運行。定時に停留所で乗降。登録の必要がなく、来訪者も気軽に使える。同様の取り組みはできないか...</p> <p>3. SDGs および本市各種計画との関係について</p> <p>(1) door-to-door の健康リスク [3]。停留所まで歩くことが健康増進になるのではないか。健康づくり計画⇒歩数の増加に関連。保健医療部の考えは？</p> <p>内燃機関自家用車の交通量を減らす「7.11.12.13」。人びとを束ねて運ぶバスは、環境負荷を減らす。環境基本計画⇒大気汚染、低炭素なまちづくりに関連。市民生活部の考えは？</p> <p>持続可能な社会と生活の質の改善「11」。自家用車の代わりにバスを使う人が増えれば、交通量が減る。交通安全計画⇒通過交通の抑制・排除に関連。市民生活部の考えは？</p> <p>「SDGs 日本モデル宣言」の賛同自治体だが、公共交通の検討においては、SDGs は無視して問題ないものと捉えているのか。SDGs を無視して市民の理解を得られるのか。</p>			

提出順	13	発言順	13	令和 3 年 8 月 24 日 午前・ 午後 3 時 46 分受領
-----	----	-----	----	---

(7 枚中 No. 7)

2021 年 8 月 24 日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員 遠藤 武文

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	地域公共交通協議会が、「推定利用人数」「公平性」「運行費用」「市民の理解」の観点から、巡回バスを運行しないと結論したことについて		

4. 地域公共交通計画の策定について

- (1) 中間評価を経た網形成計画を、表紙を変えて公共交通計画とするのか。
法定協議会の結論をもって、巡回バスの検討を終えるのか。
- (2) 貨客運送効率化事業の検討は？ 巡回バスが選択肢に入るのではないか。
- (3) 新モビリティサービス事業 (MaaS) に向けた計画は？ 「あづみん」を AI オンデマンド交通で運用する予定は？ スマホアプリで予約・決済、AI による配車。位置情報の提供。
- (4) 都市機能誘導区域と他の区域をつなぐ公共交通は「あづみん」だけ。コンパクト・プラス・ネットワークを実現するには、フィーダー輸送が弱いのではないか。拠点エリア内に循環型公共交通がなくても良いのか。都市建設部の見解は？
- (5) 観光客は周遊バスに満足しているのか。単なる移動手段ではなく、観光振興となる公共交通がなければ、遅れをとる。使い勝手の良い二次交通の有無が来訪者数を左右する。大糸線や篠ノ井線の車中で、二次交通の検索ができることが重要。バスロケーションシステムが必須ではないか。商工観光部の考えは？
公共交通計画には、地域住民と観光客それぞれの利用促進をはかることを盛り込むべきではないか。